



コネクティビティへの理解促進と搭載車種の認知向上を強化する活動を開始

カーライフをより便利に豊かにするモバイルオンラインサービス“Volkswagen Car-Net”

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役:ティル シェア、本社:愛知県 豊橋市 略称:VGJ)は、フォルクスワーゲン(以下:VW)の最新デジタル通信技術によるモバイルオンラインサービス“Volkswagen Car-Net”^{*1}(フォルクスワーゲン カーネット)の理解促進と同機能を採用したモデルの認知向上を図るために、現在販売中の人気コンパクトカー「Golf Connect:ゴルフ コネクト」シリーズを前面に打ち出した告知及び認知向上活動を、今後、全国の新聞やインターネットなどを通じて行ってまいります。

最新のVW車は、純正ラジオ”Composition Media(コンポジション メディア)“や純正ナビゲーション付インフォテインメントシステム”Discover Pro(ディスカバープロ)“にスマートフォンを接続したり、インターネット経由で簡単に“Volkswagen Car-Net“が提供する3つの機能を利用いただけます^{*1}。“App-Connect(アップコネクト)“は、Apple CarPlay™、Google AndroidAuto™、MirrorLink™という3つの異なる通信プロトコルに対応することで、スマートフォンとの連携が容易になりました。“e-Remote(イーリモート)は、PHEV専用の予約充電等の各種サービスをご利用いただけます。最新の“Guide&Inform(ガイド&インフォーム)“機能では、12項目の各種オンライン情報(Google™ Street Viewなど)が得られます。こうした車載デジタル通信技術は、今後の電気自動車や自動運転の実現に、とても重要な役割を担う技術のひとつとして注目を集めています。

VGJは現在、VWグループの「TOGETHER STRATEGY 2025」とVW乗用車部門が掲げる「TRANSFORM 2025+」という中長期戦略に則った活動を行う中で、これからの時代のクルマに求められる「インターネットとの連携」を強化したモデルの導入を積極的に行っています。現在では国内販売モデルの約9割が“App-Connect”機能を搭載しており、5割以上のモデルに“App-Connect”と“Guide&Inform”の双方が利用可能な“Discover Pro(ディスカバープロ)“を設定しています。VGJでは、今後も“Volkswagen Car-Net“を利用できるモデルを順次、導入する予定で、2017年の中盤には、ほぼ100%が「つながるクルマ=コネクテッドカー」として、日本のお客様に、これまでにない快適なデジタルカーライフを提供できるようになります。このようにVWは、ダウンサイジングエンジンの普及に続き、クルマのデジタル化でも「技術の民主化」をリードしてまいります。

^{*1} モデル、年式によって利用できるサービスが異なります。“Volkswagen Car-Net”の概要、利用可能サービス、適用車種などの詳細については、VWホームページ <http://car-net.volkswagen.co.jp/> をご覧ください。

【“Volkswagen Car-Net”対応モデル一覧:車形別】

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| ➤ ハッチバック | Polo、Golf |
| ➤ ステーションワゴン | Golf Variant、Passat Variant |
| ➤ セダン | Passat |
| ➤ ミニバン | Golf Touran、Sharan |
| ➤ SUV | Tiguan |
| ➤ クーペ | The Beetle |
| ➤ PHEV(プラグインハイブリッド) | Golf GTE、Passat GTE |

【告知方法】

新聞(ブロック、全国紙)、Web および YouTube、店頭でのDVDによる機能紹介